

新潟市民発電。「おらって」始まりました。

市民団体「おらってにいがた市民エネルギー協議会」では、新潟県内に23か所の太陽光発電所を設置し、「新潟の活性化」「温暖化防止」「原発に頼らない社会」を目指そう! という目標で活動しています。

9月には、新潟市の黒崎市民会館屋上に、第1号機となる太陽光発電設備を設置いたしました。

50kWh以下の、「低圧」と言われる小規模のものですが、順調に発電をしております。

1月には、「市民ファンド」というカタチで、市民のみなさんから出資を募り、今年度中に、全23ヶ所を稼働させる予定です。

ご興味のあるかたは、「おらって」で検索を!



「Eco列車でいこう!」~第77回 十日町で「地酒」「そば」ざんまい (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

11月1日(日)朝7時過ぎ。臨時快速「十日町地そばまつり号」は、特急いなほの車両を利用した堂々の7両編成で、新潟駅の1番ホームに入線しています。乗車率は30%程度でしょうか。長岡、六日町経由で、十日町まで2時間30分。のんびりとした車内の雰囲気と、車窓風景で飽きることはありません。

十日町駅に到着すると、早速「地酒」と「きのこ汁」の振る舞い。街全体でイベントを盛り上げています。

駅前の受付で1000円を払い、「十日町地酒呑み歩き」を申込みます。市内の5つの酒屋を巡って、おすすめの日本酒をいただくというこの企画。たくさんの人たちが参加するようで、受付はにぎわっています。

マップを片手に呑み歩きスタート。各お店には、自家製の漬物や山菜など、ちょっとしたお酒の「あて」も用意されており、店主との会話を楽しみながら、おちょこ片手に十日町の街歩きを楽しみます。無事に5店を回り、最後のお店で、賞状と、景品のワンカップをいただきました。

「呑み歩き」だけでも大満足ですが、これからがメインイベント。「十日町地そばまつり」です。会場のキナーレでは、十日町、小千谷、そして北海道幌加内町のお店、計14店が、自慢のそばを提供します。小盛りで1杯300円。あたたかいそばと冷たいそばが選べます。5件を巡り食べ比べをしました。へぎそばの超有名店のおそばもおいしいのですが、隠れた名店がたくさんありました。

十日町駅に戻り、ほくほく線でまつだい駅へ。駅前には大地の芸術祭の会場になった「まつだい農舞台」があり、アート作品がいろいろと展示してあります。訪れる人たちは思い思いに写真を撮っていました。

再び十日町駅から臨時快速「十日町地そばまつり号」で帰途に。そばとお酒を存分に味わう、大満足の旅でした。

